

プリグロックス[®]L だけの新技術

イネ科雑草種子発芽後枯殺効果

プリグロックスLがイネ科雑草の種子に付着すると
発芽後に種子が枯死し、次世代の発生源を減らします！

※プリグロックスLには土壌処理効果はありません。有効成分は土壌に接触後、すみやかに吸着、不活性化します。

おすすめするには、理由^{わけ}がある！

ノビエ
対策に

ノビエを種子ごと
密度抑制！！

プリグロックスL 100倍



無処理



2015年 シンジェンタジャパン(株) 中央研究所
試験草種:ノビエ
試験方法:所定温度の希釈液に雑草種子を3秒間浸漬。浸漬後直ちに種子を
ろ紙に移して風乾。乾燥後、湿ろ紙を敷いたシャーレに種子を
置床して温度25℃・湿度60%の条件下にて管理した。
撮影 日:薬剤処理7日後

雑草イネ、
こぼれもみを抑制！！

雑草イネ、
こぼれもみ
対策に

*0(無作用)～100(完全枯死)

処 理	希 釈 倍 数	雑草イネ		水稻(コシヒカリ)	
		生育抑制程度%*		生育抑制程度%*	
		ろ紙	土壌	ろ紙	土壌
プリグロックスL	100倍	95	71	95	96
	200倍	94	57	95	95
無処理		0	0	0	0

2015年 シンジェンタジャパン(株) 中央研究所
試験草種:ノビエ
試験方法:所定温度の希釈液に雑草種子を3秒間浸漬。浸漬後直ちに種子を
ろ紙に移して風乾。乾燥後、湿ろ紙を敷いたシャーレに種子を
置床して温度25℃・湿度60%の条件下にて管理した。
撮影 日:薬剤処理7日後

畑地雑草
対策に



スズメノカタビラ

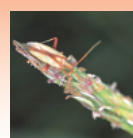


ネズミギ



オシバ

斑点米
カメムシの
発生量低減！！



アカスジカメムシ

斑点米
カメムシ
対策に

出穂期での
確実な効果

プリグロックスL 100倍(150ℓ/10a)

対照剤A 100倍(150ℓ/10a)



2014年 シンジェンタジャパン(株) 社内試験
散布日:プリグロックスL 7月16日、対照剤A 7月9日 撮影日:7月24日

秋冬期散布で
翌年の発生密度を
低減



薬剤が付着した種子は発芽後生育ができずオシバの密度を減少

採集オシバ種子(置床30日後)発芽後枯殺効果写真

2012年 シンジェンタジャパン(株) 社内試験
試験草種:オシバ 散布日:10月11日 採集日:11月3日
発芽試験期間:2013年2月～3月

畦畔等の発生源対策

6月上旬から稲の出穂10～15日前までの水田周辺除草により、
カスミカメムシ類の密度を低減。



畦畔の雑草は
害虫のすみかになる

田んぼのノビエでお困りの方へ!

ノビエは、稲刈取後にも圃場内で再生し大量の種子をつけ、翌年のノビエ密度を高めます。

翌年への持ち越し種子を減らしノビエ密度を低減させるには、稲刈取後のプリグロックスLの散布がおすすめです。

稲刈取後の雑草を放置すると…



再生した雑草の種が、土壌に落ち、表面や地中で越冬休眠します。

雑草の種子が発芽し、生育をはじめます



プリグロックスLなら、稲刈取後の低温期でも安定した効果を発揮し、稲刈取後に再生してきたノビエをはじめとした雑草をしっかりと枯らしめます。

また、イネ科雑草種子発芽後枯殺効果によって翌年のノビエなどのイネ科雑草の密度を低減し、省力化に貢献します。

イネ科雑草種子発芽後枯殺効果



※プリグロックスLには土壌処理効果はありません。
プリグロックスLの有効成分は土壌に接触後、すみやかに吸着、不活性化。

プリグロックスLの上手な使い方



発芽したノビエ、スズメノテッポウ、コナギなどの一年生雑草を除草。これから発芽するイネ科雑草種子にも効果があります。

初・中期一発処理除草剤などの単用または、初期剤、中・後期剤と組み合わせた体系処理で本田除草。プリグロックスLを春先に処理しておけば、より効果的に雑草を抑えます。

ポイント!

雑草とイネ科雑草植物体上の種子に薬液がしっかり付着することが大事。

100-150L/10aのたっぷり散布がおすすめ!

非選択性除草剤
プリグロックス®L

農林水産省登録 第16397号
有効成分:ジクワットジプロミド 7.0%、
パラコートジクロリド 5.0%
毒物および劇物取締法:毒物
作用機分類番号(RAC番号) 除草剤分類 22, 22

最新情報はこちら



実感レポート



広島県生産者
柚木隆憲さん
2021年10月取材

悩まされていたノビエが激減

春の青草などの雑草が少なく、代かきの作業がとても楽でした。また、田植え後のノビエもよく抑えられていましたね。ガスの発生も少なく、稲の初期生育が良かったように思います。正直、ここまで差が出るとは思いませんでした。

実感レポート



愛知県豊田市
岡田吉司さん
2012年8月取材

「稲刈取後除草」の導入で、ノビエが以前の5分の1に減りました。

3年前から本田除草剤に加え、稲刈取後の再生したノビエに対して、プリグロックスLを乗用管理機で散布しています。年を追うごとにノビエの発生が確実に減っていると実感しています。今ではノビエの発生量がプリグロックスL導入以前の5分の1ほどになりました。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器・空袋等は圃場などに放置せず適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。

